

平成27年度 港まちづくり協議会事業計画

○：心地よく安心な港まちで暮らす

○-(1) 防災・減災まちづくりの推進

■ねらい	○津波・液状化対策や観光客への対応など、港まちならではの課題に挑戦するまちづくりを推進する。
■概要	○学区連絡協議会・地元企業・行政等と協働した防災・減災の取り組みを実施し、他の地域へのモデルとして発信していく。 ○防災・減災勉強会等を実施して、活動の担い手の発掘・育成を行う。

○-(2) AED 活用の促進

■ねらい	○港まちを中心としたエリアにおける AED の活用を促進する。
■概要	○AED の設置個所を明記した既存マップを更新し、緊急時に誰もが AED を有効に活用できるようにサポートする。 ○AED が設置されていないエリアについては、設置箇所を検討し、協力を依頼する。 ○学区連絡協議会や企業等と協働し、AED の使い方講習会を実施する。

○-(3) コミュニティ活動の推進

■ねらい	○港まちの日常を豊かにするコミュニティ活動と協働を図り、より多くの人々が関われる事業を展開していく。
■概要	○平成26年度の成果を引き継ぎつつ、地域のニーズに即した事業を検討・展開し、住民の方々が楽しく交流できる場づくりを行うこととする。 ○定期的なアンケートの実施等を行い、各事業における参加者の声の把握に努め、より充実した事業が展開できるようにしていく。

○-(4) 港まち文庫事業

■ねらい	○港まちの拠点に文庫を設置し、より多くの人々がお気に入りのスポットで読書を楽しめるようにして、広く生涯教育に貢献する。
■概要	○西築地小学校・西築地コミュニティセンター・西築地小学校トワイライトスクールの港まち文庫の利活用を促進する。 ○地域に親しまれやすい場所に新たな港まち文庫の開設を検討する。 ○各種のイベント事業等においても文庫の活用を検討する。

△：魅力的でにぎやかな港まちに集う

△-(1) 地藏盆まつり

■ねらい	○夏の恒例イベントとして開催されてきた「地藏盆まつり」と連携し、港まちならではの魅力づくりに貢献する。
■概要	○夏の港まちのお祭りムードを締めくくるイベントとして、地域の老若男女が楽しめるコンテンツにする。 ○各種の団体・NPO・事業者等との交流も促進し、地域に根付いた魅力的なイベントにしていく。

△-(2) みなとイルミネート

■ねらい	○イルミネーションで飾られた港まちの中で、学区連絡協議会や商店主の方々等と協働した参加型イベントや手作り装飾等によって、江川線を中心とした港まち界限に賑わいを創出する。
■概要	○住民参加型の手作り装飾に加えアートや音楽等のイベントを実施する。 ○江川線沿いを中心にイルミネーション装飾等を施し、参加型イベントと連携することで江川線を非日常的な空間に演出する。 ○地域内外の方をボランティアとして迎え入れ、実施者としてもイベントを楽しめる港まちファンづくりを行う。

△-(3) 名古屋みなとをどい

■ねらい	○踊りが盛んな港まちの特徴を活かし、地域の皆さんと一緒に作りあげていく参加型の公演会を実施する。
■概要	○みなとヤレコノ！を中心とした楽しく踊れる楽曲や、伝統芸能に親しむきっかけづくり等を折り込み、地域の皆さんと一緒に作りあげる公演会を実施する。 ○「踊り」をキーワードに新しい団体の発表の場をつくり、地域の方との交流の機会をつくる。

△-(4) 港まち 100 周年記念事業

■ねらい	○西築地小学校の創立 100 周年を機に「これまでの港まちを振り返り・これからの港まちを考える」ことができるような事業を実施する。
■概要	○西築地小学校、学区連絡協議会と連携し、港まち 100 周年に関連する事業を検討・実施する。

□：みんなと港まちを創る

□-(1) ぶらり「港まち新聞」

■ねらい	○西築地学区を中心とした港まち界隈の地域情報や港まちづくり協議会が主催する事業に関する情報を発信する。
■概要	○港まちの地域資源に注目し、固有の施設や行事、または人物の関連情報等を「ぶらり港まち新聞」を通して効果的に発信する。 ○地域住民の皆さんには、取材対応や情報提供をいただき、編集・デザイン・出版のプロなどと相談しながら事業を推進する。

□-(2) まちなかコンシェルジュ

■ねらい	○拠点（新事務所）1階の情報センターを活用し、観光客を中心に港まちを訪ねる人に向けた情報発信を行う。
■概要	○港まちの店舗やイベント情報を来場者に紹介する。 ○これまで港まちづくり協議会が実施してきた事業の成果（映像、新聞など）を陳列し、来場者が閲覧するスペースを設置する。 ○情報センターを紹介する広報ツールを作成し、名古屋市内、愛知県内、県外にPRする。

□-(3) 提案公募型事業

■ねらい	○港まちづくり協議会の活動に、新たな風を呼び込む機会として提案公募型事業を実施する。
■概要	○地域課題を提示して解決策となる事業を募集する。 ○事業者向けに相談窓口を常設し、事業申請をサポートする。 ○募集時期を上期と下期に分けて行い、それぞれ港まちづくり協議会委員による審査会を開催し、委託事業を選定する。 ○受託団体者向けの説明会を実施して、事業実施に向けての注意事項、要点事項などを共有していただく。 ○委託団体の事業概要を把握して、事業が効果的に実施できるように広報などのサポートを行う。

□-(4) み(ん)なとまちの拠点整備・活用事業

■概要	○平成26年度に続き、拠点の整備を行うとともに、拠点の活用事業を実施する。
■内容	○主に拠点の3階から5階の整備を実施する（1階、2階の追加改修含む）。 ○拠点を活用した「みなとまちスクール」などの講座を開催し、地域の方と共に、港まちの今後について意見交換を行う。 ○拠点3階をアートスペースとして、アーティストやクリエイターの作品制作の場を提供する。制作過程を公開し、地域住民との交流の機会とする。

□-(5) 調査検討事業

■ねらい	○今後に予定をしている事業などの調査研究やパイロット事業を実施する。
■概要	○今後に予定、検討していく事業（アートや音楽、空き家対策など）に関するパイロット的な取り組みの実施や先進事例の調査研究などを行う。 ○必要に応じて、住民意向調査・ステークホルダー分析などを実施する。 ○先進事例地域を訪問し、関係者と意見交換を行い、これからの港まちづくり協議会の事業に活かす。

□-(6) 広報活動

■概要	○港まちづくり協議会で検討された事柄や実施する事業について、地域住民の皆さんをはじめ広く一般に知らせる。
■概要	○広報紙の作成、ホームページ運営など。 ○年次報告書の作成など。

□-(7) 事務局運営経費

■概要	○協議会の事務局運営に必要な経費
■概要	○事務所の借上げ費、複合機等のリース料、事務局職員の人件費、税理士の顧問報酬費、電気、上・下水道使用料など。